

平成 28 年 7 月 7 日

平成 28 年度 農村生態工学研究部会 現地研修

開催案内

農村生態工学研究部会では毎年、農村生態系の保全に関する先進的な取り組みの現地研修を行っています。本年度の現地研修については、「ナマズのがっこう」や公益財団法人伊豆沼・内沼環境保全財団のご協力を得て、宮城県栗原市・登米市（伊豆沼周辺）にて開催いたします。

研修内容

ラムサール条約登録湿地である伊豆沼における外来生物対策など、伊豆沼・内沼環境保全財団による環境保全の取り組みを学び、2015年にリニューアルした伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターを見学します。伊豆沼に隣接する県営農地整備事業伊豆沼2工区地区では、渡り鳥の越冬やナマズ等の魚類の生息に配慮した事業実施が進められており、現地を見学し、当地区の環境配慮について意見交換します。このほか、北上地区（石巻市）の水田魚道やブロックマット水路等の環境配慮工法について紹介していただきます。

参考 URL：伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター <http://izunuma.org/index.html>

伊豆沼2工区地区 <http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/295871.pdf>

主 催 公益社団法人 農業農村工学会 農村生態工学研究部会

開催日時 平成28年9月2日（金）
9：00（集合：仙台駅）～12：40（解散：くりこま高原駅）
※昼食は、解散後に各自お取りください。

開催場所 宮城県栗原市、登米市
※現地見学の地区は変更する場合があります。

対 象 者 農業農村工学会会員、農業土木技術者、農地・水等交付金活動組織の構成員、自治体職員、その他農村環境の保全に関心のある方

参加費用 500円（現地交通費として。集合時に徴収いたします。）
※集合場所までの交通費及び宿泊される方の宿泊費は各自お支払いください。

参加申込 農村生態工学研究部会事務局まで、メールまたはFAXにてお申込みください。
お申込みの際は、お名前、ご所属、当日つながる電話番号をお知らせください。
※申込み締め切り 8月5日（金）ただし、定員になりしだい締め切ります。

問合せ先 農村生態工学研究部会事務局 渡部恵司（農研機構 農村工学研究部門）
電話 029-838-7686 FAX 029-838-7609
E-mail nousonseitai☆jsidre.or.jp（☆を@に換えてください）